

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

第二部 神鷹丸航海調査報告 第39次航海報告 期間
平成9年8月～平成9年9月 海域 東支那海及び黄海

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-04-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/264

2.1.2.

大連港入港報告

Report of Dalian port

高須康介 栗田嘉宥 林敏史 萩田隆一 田中忠師

東京水産大学練習船

1.はじめに

東京水産大学練習船神鷹丸は第38次航海（乗船漁業実習Ⅲ）において、食料・清水補給のために中国青島港に入港（平成8年9月1日～9月4日）したので状況を報告する。

- 1) 入港国：中華人民共和国
- 2) 位置：38-56N, 121-39E（概位）
- 3) 使用海図：英国版 U.k.No.3694
- 4) 使用時：UTC+8h
- 5) 代理店：China Ocean Shipping Agent Co. Cables: PENAVICO-Dalian
- 6) 本船概要

GT: 935t, Net: 280t, Loa: 60m, B: 10.6m, Df: 2.85m, Da: 50m, Crew: 67persoms,
2100p.s.Diesel Engine, Single Screw(CPP), Speed: 13.0Kt, Call sign: JFCL

2.港湾地勢

大連港は中国北部の代表的な貿易港として発展している。大連湾の南西部に港湾施設は集中しており、北部には増築された危険貨物を扱うバースがある。又北東部には経済特別区に指定されたコンテナバースが完備されている。大連湾の入港には IMO には採択されていないが、分離通行帯が設定されている大三山水道(Daisanshan Shuidao)のみ通航が許可されている。(図1参照)

3.海象気象

錨地では北西から北北西の風、風力4から5、入港中も北西から北北西の風で風力4から5であった。入港期間中の潮汐は1日2回潮で、最大潮高差は255cmあった。

4.入港

1)連絡事項

Dalian Harbour Master

宛ての Dasanshan Shuidao（大三山水道）正横時に Dalian Harbour Master 宛てに VHF で水道内に

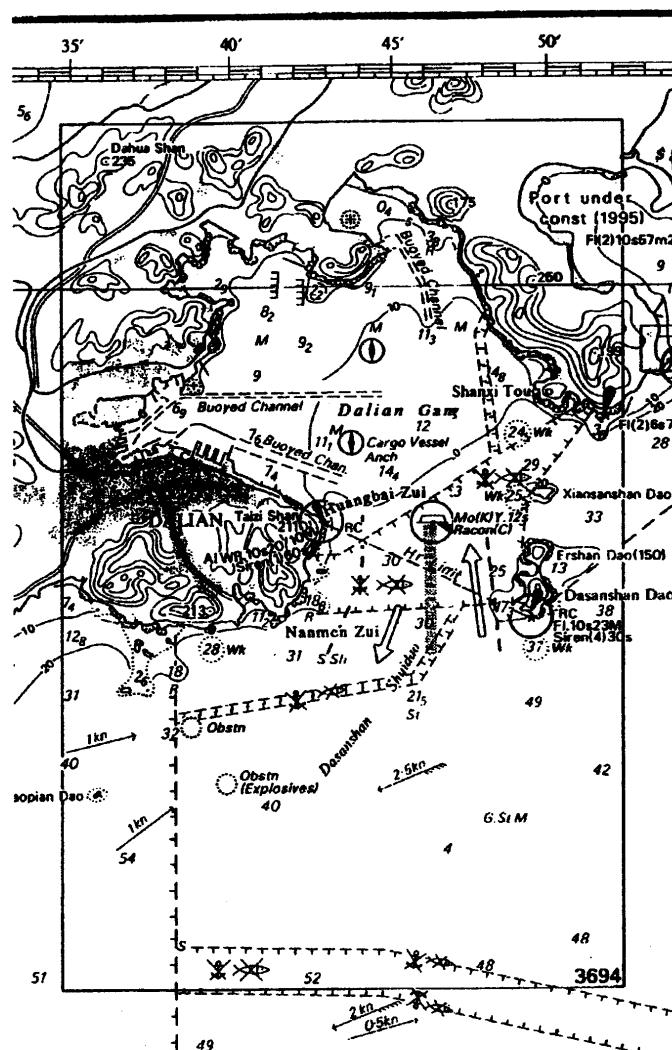


図 1

入域したことを連絡した。なお、PENAVICO-Dalian 宛てに事前に ETA, Pilot Requirement 及び Crew list は FAX での送信を行っている。

2) 本船の動静 (図 2 参照)

1st. Sep, 1997

0745 Dasanshan Dao L.H を abeam し、Dasanshan Shuido に入域したことを大連港務監督 (Dalian Harbour Superintendency Administration) へ VHF を使用して Dalian Port Radio へ通報した。

0845 Dalian No.1 Anchorage(38-55.82N, 121-44.95E)に投錨(水深 17.4m、底質は泥)し、Dalian Pilot Control と VHF(CH06)で連絡をとった。事前連絡で水先人を要請していたが PENAVICO-Dalian より手配されていなかったようである。急遽、VHF 25ch(PENAVICO-Dalian)で連絡設定を行い、Anchoring Position の報告、及び水先人の要請をした。その後 Pilot Control より 1100 水先人乗船の連絡を受けた。

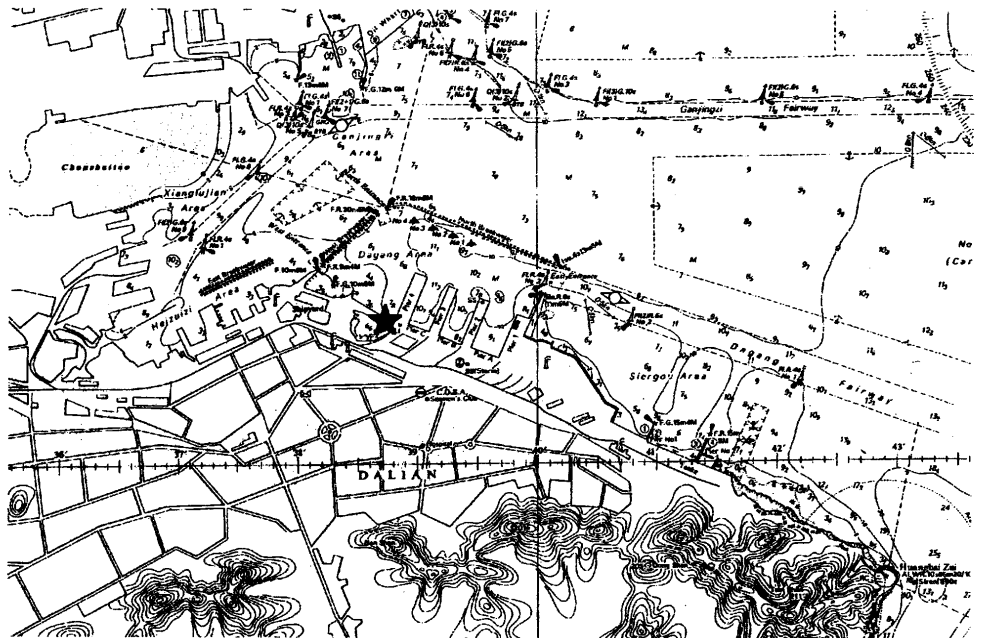
1053 水先人 (Mr. Zheu-youing Wi) 乗船 (水先人は強制である)。

1054 抜錨。

1145 Port of Dalian pier No.4 に着岸した。(図 2 内★印) なお着岸の際、タグボート(船名: 連港 11)を右舷船尾にとった。

3) 入港手続き等

着岸後、2nd Port であるので PENAVICO-Dalian のみ乗船し、本船作成の書類及び青島発給の書類を確認した。なお、本船入港中は舷門に辺防兵一名が立哨し、本船乗組員、学生の上陸及び帰船の際船員手帳及び shore pass、パスポートを入念に確認していた。



4) その他

また、岸壁と市

街地との境界にはフェンスが張られており出入りをするにはゲートを利用する。ゲートは午前 0 時になると、1ヶ所を除き閉鎖されてしまう。ごみは、毎朝トラックにて回収にされた。

5. 清水・食料の補給

清水はバージから積み込んだ。

なお、本船は前港 (青島港) で食料の積み込みを行っているため、本港では食料の積み込みは行わなかったが、錨地にて錨泊していた際、PENAVICO-Dalian より VHF で食料積み込みの有無を確認された。

参考文献

海上保安庁 1997 pp.352-357 中国・台湾沿岸水路誌

COLIN PIELOW pp.461-465 GUIDE TO PORT ENTRY 1997/1998 EDITION

海上保安協会 pp.1-11 世界港湾事情速報第 34 号

図 2